夢ある未来へ　人とともに、街とともに、大地とともに…

あつぎ グリーンアート

JAあつぎ情報誌
https://www.ja-atsugi.or.jp/
JULY. 2025 vol.243 7

国際協同組合年
協同組合はよりよい世界を築きます

特集

第62回通常総代会　全6議案承認
協同の必要性を一体となり発信

厚木市文化会館大ホールで開かれた「第62回通常総代会」

今月のおすすめは数量限定のマスクメロン

1周年を迎えたグリーンセンター

緑のまつりでフラワーカーペット制作

グリーンアート あつぎ
7 July 2025
VOL.243

農業で地域を支える生産者を紹介

土とともに

少量多品目で栽培 家族の笑顔が農業のやりがいに

清川村煤ヶ谷
山口（やまぐち） 治男（はるお）さん（64）

清川村煤ヶ谷にある約15アールの圃場で露地野菜と果樹を栽培。土に触れる楽しさや収穫の喜びを感じながら農業に励んでいます。

家族が食べる野菜を自らの手で

60歳まで公務員として働いていた山口さんは、定年退職を機に本格的に農業を始めました。きっかけは、子どもや孫などの家族が食べる野菜を自らの手で栽培したいという思いから。以前、両親が米や麦、茶などを栽培していたことから、農業は身近にありましたが、栽培に対する知識・技術は、本やインターネットを活用して現在も学びを深め、試行錯誤を重ねています。

一歩一歩ステップアップを

現在は、トマトやソラマメ、ニンニクなど年間20種類以上の露地野菜と、ミカンやユズ、ブルーベリーなど5種類以上の果樹を生産。作付けする品目は、遠方に住む子どもや孫に届けることを考え、日持ちするものを中心に選定しています。

農業を始めてから、日々の作業や管理方法を記録する「農作業日誌」を作成しています。無事収穫を迎えた時、不作だった時など、日頃つけている日誌を見返し、成功と失敗の要因を振り返りながら、次作へと生かしています。

土地柄、サルやシカなどの鳥獣被害も多く、丹精込めて育てた農産物を守るため、電気柵を設置しています。今後は、珍しい葉物野菜にも挑戦していきたいと考えています。

山口さんは「家族がおいしいと笑顔になってくれることが原動力につながっている。今後も成功体験を重ね、味と品質にこだわった農産物を作るという次の目標にステップアップしていきたい」と意気込みを語りました。

夏野菜の栽培管理を行う山口さん

JA あつぎ
マスコットキャラクター
ゆめみちゃん

目　次

土とともに……2
特集……4
　第62回通常総代会
　協同の必要性を一体となり発信
グリーンニュース……9
　第51回女性部長大会・家の光大会
　介護予防運動教室　ほか
あぐりスポット……12
夢未市・グリーンセンター かわら版……14
税のはなし／無料相談会のお知らせ……15
あつぎゆめ散歩／簡単！エクササイズ……16
スマイルステーション……18
JAステーション……20
　営農座談会Q＆A
インフォメーション……22
今月のレシピ／旬の農産物情報……24

JAあつぎ
https://www.ja-atsugi.or.jp/
JAあつぎ　検索

Instagram
▲JAあつぎ公式
▲農産物直売所「夢未市」

YouTube
▲JAあつぎ公式「ゆめみちゃんねる」

LINE
▲農産物直売所「夢未市」

特集

第62回通常総代会 全6議案承認
協同の必要性を一体となり発信

第62回通常総代会が5月24日、厚木市文化会館大ホールで開催されました。

本人出席225人、議決権行使234人、合わせて459人の総代が出席。依知地区の藤野優氏と荻野地区の松本光明氏を議長に、令和6年度事業報告や令和7年度事業計画の設定など全6議案が審議され、全ての議案が可決承認されました。

審議された6議案

第1号議案　令和6年度事業報告および剰余金処分案の承認について
第2号議案　定款の一部変更について
第3号議案　令和7年度事業計画の設定について
第4号議案　役員の選任について
第5号議案　役員報酬について
第6号議案　退任理事および退任監事に対する退任慰労金の贈呈について

あいさつを行う大貫組合長

大貫盛雄組合長 あいさつ（要旨）

令和6年度は、各国の物価や金融政策の動向、米国の急進的な関税政策の影響により、不確実性が高い状況が継続しています。また、国内では「金利ある世界」への移行や賃金上昇を上回る物価高騰を記録するなど、大きな変化に見舞われています。そのような中、組合員皆さまのご協力と職員のたゆまぬ努力により、概ね計画に沿った事業活動実績となりました。

事業活動については、「第16次協同活動強化運動JAあつぎ3か年プラン」の中間年度として、総合事業の機能発揮、人材育成、内部統制の実効性確保、総合的なリスク管理体制とコンプライアンス態勢の強化による堅実な経営体制のもと、組合員の期待に応える事業活動の展開と、自己改革のさらなる深化に取り組んでまいりました。

農業・農政面では、依然として農業者の減少・高齢化が進み、生産資材価格の高止まりが継続するなど、一層厳しい状況に直面しています。また、記録的な猛暑や大規模な森林火災の発生など、これまで経験したことのない自然災害が頻発しており、営農に対する不安が高まっています。令和7年度は、自己改革を反映した「第16次協同活動強化運動JAあつぎ3か年プラン」に即し、事業計画の着実な実践を通じて、生産組合をはじめとする組合員組織への各種支援による組織基盤の強化に取り組むとともに、「農業を軸とする地域に根ざした協同組合」として、組合員・JA・地域の結束をより強固にし、管内農業振興と地域活性化に取り組んでまいります。

併せて、令和7年は国連が定める「国際協同組合年」です。調和や協調より自己の利益を優先する考え方が台頭し、さまざまな格差や分断が表面化している情勢において、今こそ志を同じくする協同組合同士の連携を強め、組合員・地域住民に「協同」の果たす役割や重要性を広く訴求してまいります。

今後も、JAあつぎが組合員や地域社会にとってなくてはならない存在として共に歩み続けるために、一層の組織・事業・経営基盤の強化を図ることで、組合理念「夢ある未来へ　人とともに、街とともに、大地とともに…」の実現に結び付けてまいりますので、引き続き、組合運動にご参加賜りますようお願い申しあげます。

令和7年度事業計画（基本方針）

■基本方針

農業やJAを取り巻く環境は、少子高齢化に伴う農業人口の減少や農業生産資材価格の高止まりに加え、物価高の長期化、日銀による金融政策の変更など、先行きが不透明な状況が続いています。また、食料・農業・農村基本法の改正を受け、食料安全保障や適正な価格形成の実現に向けた具体策の検討が進んでいます。さらに、令和7年は国連が定める「国際協同組合年」として、協同組合の果たす多様な役割が広く発信されることで、協同の必要性への理解促進が期待されます。

このような状況下、「農業を軸とする地域に根ざした協同組合」としての使命を果たすため、持続可能な組合運営と魅力ある事業活動に取り組むとともに、組合員との徹底した対話を反映した「自己改革実践サイクル」の着実な実践と進捗管理に基づき、不断の自己改革のさらなる深化を図ってまいります。

令和7年度は、「第16次協同活動強化運動JAあつぎ3か年プラン」の最終年度として、4項目の基本目標を着実に実践してまいります。

■基本目標

①農家所得の向上と持続可能な地域農業の実現

各支所や営農経済センター「あぐりべぇ」を中心に営農相談機能を発揮し、農業生産力および販売力を強化することで、安全・安心で良品質な農畜産物を地域へ安定的に供給し、持続可能な地域農業の実現に取り組みます。

②教育文化活動の展開による組織基盤の強化と地域の活性化

組合員とのつながりを強化するため、教育文化活動の展開や組合員との対話を充実させるとともに、基盤組織である生産組合をはじめとした組合員組織の活性化を図ります。また、食を支える農の理解を深める活動などを通じ、組合員・地域とともに築く協同の力によって、地域の活性化を図ります。

③支所店力の強化と総合事業の機能発揮による組合員満足度の向上

JA 綱領唱和を行う
神﨑生産組合長会会長

地区の特性を生かした事業活動の展開による支所店力の強化や質の高い相談対応をはじめとした総合事業の機能発揮により、組合員満足度の向上と事業利用拡大に取り組みます。

④コンプライアンス態勢の充実と持続可能な経営基盤の強化

地域に根ざした組織として社会的役割を果たすため、マネロン・テロ資金供与対策をはじめとしたリスク管理体制の強化やコンプライアンス態勢の確立に取り組みます。また、先を見通した成長・効率化戦略の実践と経営管理の高度化により、持続可能な経営基盤の確立・強化に取り組みます。

第4号議案における投票の様子

役員紹介

令和7年5月24日、第62回通常総代会ならびに理事会、監事会においてJAあつぎの執行体制が決定いたしました。

役員につきましては、理事27名・監事5名となります。組合理念「夢ある未来へ　人とともに、街とともに、大地とともに…」のもと、組合員から必要とされ愛されるJAとなるよう、誠心誠意取り組んでまいります。

（敬称略）

常勤理事

常務理事
新藤（しんどう）　進久（のぶひさ）

常務理事
萩原（はぎわら）　佐敏（さとし）

代表理事専務
大塚（おおつか）　孝雄（たかお）

代表理事組合長
大矢（おおや）　和人（かずと）

監　事

常勤監事
寺久保（てらくぼ）　正道（まさみち）

代表監事
潮田（うしおだ）　好美（よしみ）

監事
柳川（やながわ）　雅彦（まさひこ）

監事
大高（おおたか）　松太朗（まつたろう）

員外監事
久保田（くぼた）　和夫（かずお）

理　事

睦合地区
桐生（きりゅう）　長英（ながひで）

睦合地区
小島（こじま）　輝雄（てるお）

荻野地区
落合（おちあい）　勝美（かつみ）

荻野地区
萩原（はぎわら）　敏正（としまさ）

依知地区
甘利（あまり）　清美（きよみ）

依知地区
片倉（かたくら）　雄二（ゆうじ）

南毛利地区
古澤（こさわ）　裕二（ゆうじ）

玉川地区
加藤（かとう）　一夫（かずお）

玉川地区
三橋（みつはし）　正巳（まさみ）

小鮎地区
臼井（うすい）　欽一（きんいち）

小鮎地区
仲田（なかだ）　進（すすむ）

睦合地区
関原（せきはら）　寿徳（としのり）

清川地区
下嶋（しもじま）　美範（よしのり）

相川・駅前地区
内海（うちうみ）　則行（のりゆき）

相川・駅前地区
石井（いしい）　淳二（じゅんじ）

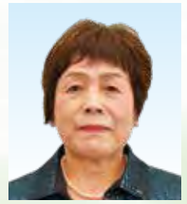
相川・駅前地区
大貫（おおぬき）　豊（ゆたか）

南毛利地区
木原（きはら）　米雄（よねお）

南毛利地区
相田（あいだ）　薫（かおる）

全域
山口（やまぐち）　和美（かずみ）

全域
古澤（こさわ）　由里子（ゆりこ）



全域
森住（もりずみ）　政子（まさこ）

全域
吉村（よしむら）　八千代（やちよ）

清川地区
山田（やまだ）　弘文（ひろふみ）

組合員・地域の期待に応えるJAを目指し、対話を大切にしながら歩みを進めていきます。

退任役員紹介

第62回通常総代会で、
次の方々が退任されました。
長い間のご尽力に感謝いたします。

（敬称略）

大貫（おおぬき）　盛雄（もりお）
平成18年5月 常務理事
平成21年5月 専務理事
平成27年5月 代表理事
組合長

小瀬村（こせむら）　均（ひとし）
平成30年5月 常務理事

難波（なんば）　郁夫（いくお）
平成30年5月　理事

野口（のぐち）　政夫（まさお）
令和3年5月　理事

柏木（かしわぎ）　孝昭（たかあき）
令和3年5月　理事

大村（おおむら）　太一（たいち）
平成27年5月　理事

石井（いしい）　徹（とおる）
平成30年5月　理事

綱嶋（つなしま）　香代子（かよこ）
平成30年5月　理事

髙橋（たかはし）　修一（しゅういち）
平成30年5月　監事

鈴木（すずき）　千代松（ちよまつ）
平成24年5月　員外監事
平成30年5月　代表監事
（員外監事）

生産組合長表彰

長年にわたり、生産組合の組織活動の発展にご尽力された功績をたたえられ、表彰されました。

◆特別表彰

【相川地区】　内海 則行

◆功労者表彰

【依知地区】　常盤 光男・梅澤 憲司・藤野 茂
【荻野地区】　神﨑 義一・髙澤 光夫・花家 治義・加藤 和美・岸 一郎・難波 和美
【睦合地区】　野島 一夫・佐藤 和彦・今井 昇
【小鮎地区】　大久保 春樹・小島 啓二・西海 秀夫・小島 敏明・森久保 哲夫・小川 義孝・（故）守屋 正・伊藤 桂・飯原 繁・山本 幸彦・山本 金五・山本 保美
【玉川地区】　髙橋 節二・髙橋 善照・鈴木 利雄・三橋 敏一・中村 孝明
【南毛利地区】　三橋 勝利・久嶋 幸男・村井 裕之・髙橋 速雄・井上 良一・井上 信雄
【相川地区】　髙橋 修・石井 淳二・飯田 昌彦・水嶋 浩一
【清川地区】　岩澤 衛・山口 正春・岩澤 富美子・山田 富夫・岩澤 秀行・岩澤 敏雄　朝倉 徳男・山田 一夫・山田 護
【駅前地区】　清水 一美

JAあつぎ自己改革の実践計画（抜粋）

【自己改革実践の具体的方針】

①訪問活動や座談会を通じた「組合員との対話」を原点として、ニーズを的確に把握します。

②「農業者の所得増大・販路拡大」につながる農業者目線で必要な取り組みについて、目標および実践具体策の策定等と合わせて実践し、改革の目的である「所得増大」を実現するほか、「地域の活性化」に取り組みます。

- JA買取米数量拡大を通じた売上増加
- 良質米生産に向けた水稲苗の健苗供給
- 良質米生産に向けた各種水稲講習会の開催
- 買取販売の拡大を通じた売上増加
- 地場農畜産物の販路拡大
- 土壌診断をもとにしたコスト削減
- 農作業受委託による農地利用促進
- 6次産業化による付加価値の向上
- 鳥獣被害の被害軽減対策
- 共計取扱数量拡大を通じたコスト低減
- 担い手・新規就農者の育成
- 販路・農地利用拡大等の農業経営支援
- 農業機械レンタル事業による担い手支援
- 支所店を拠点とした協同活動の充実
- 移動販売車による買い物支援
- 食農教育事業の実践

③改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、不断の自己改革を着実に実践します。

自己改革実践サイクル

JAあつぎ自己改革の数値実績・目標（抜粋）

■ 支所店を拠点とした協同活動の充実

地区運営委員会による農業体験等	令和6年度実績	12回
	令和7年度目標	9回

■ 役員による組合員との対話運動

対話人数	令和6年度実績	327人
	令和7年度目標	377人

■ 組合員の事業利用拡大に向けた総合相談体制の強化

相談件数	令和6年度実績	204件
	令和7年度目標	150件

組合員・利用者に寄り添った提案を行う総合相談業務

■ JA買取米数量拡大を通じた売上増加

買取数量	令和6年度実績	16,617袋
	令和7年度目標	19,000袋

■ 買取販売の拡大を通じた売上増加

買取数量	令和6年度実績	122,740点
	令和7年度目標	187,200点

■ 共計取扱数量拡大を通じたコスト低減

肥料予約注文数量	令和6年度実績	22,858袋
	令和7年度目標	29,000袋
農薬予約注文数量	令和6年度実績	10,985個
	令和7年度目標	13,100個

■ 移動販売車による買い物支援

利用者数	令和6年度実績	10,163人
	令和7年度目標	11,000人

詳しくは総代会資料をご確認ください

管内の旬な情報をお届け！

グリーンニュース Green News

JAあつぎホームページでも最新トピックスを紹介しています。

https://www.ja-atsugi.or.jp/

魅力的な活動へ情報共有

第51回女性部長大会・家の光大会

JAあつぎは4月24日、部員相互の交流を深め、組織の強化を目的に「第51回女性部長大会・家の光大会」を開き、女性部員や関係者ら約170人が参加しました。

当日は、部長・部会表彰のほか、令和6年度の活動報告や令和7年度の活動計画について共有。併せて、第66回全国家の光大会の本大会に同JAの女性部員として初めて出場を果たした難波千賀子さんによる「夢ある未来へ 思いをつなぐ」と題した生活文化体験発表が行われました。

記念講演では、打楽器奏者・リズムインストラクターの山本晶子氏が、身近なものを使った脳トレやリフレッシュにつながるリズム遊びを紹介するなど、教養を深めました。

あいさつを行う女性部協議会の山口洋子会長

講師が奏でる木琴の音色に聴き入る参加者

息の合った踊りで会場を盛り上げた部員ら

未来へつなぐ花と緑の魅力

第48回厚木市緑のまつり

花と緑に親しむイベント「厚木市緑のまつり」が5月10日と11日の2日間、厚木中央公園で開催されました。

48回目となる今年のテーマは「森と人 共に生きよう 未来へと」。会場中央には、地場産花きを使った直径5.5メートルの円形花壇が設置され、来場者の目を楽しませました。イベントでは、花・野菜の苗、植木の販売のほか、市制70周年を記念したフラワーカーペットの制作や、ペピーノのPRブースなどが設けられました。ステージでは、次世代部「マリヒニ」によるフラが披露され、会場を大いに盛り上げました。

手軽さ学んで野菜栽培を身近に

小鮎地区女性部「春の袋栽培講習会」

小鮎地区女性部は5月9日、少ない資材で手軽に始められる栽培方法を学び、作物を育てる楽しさや農業への理解を深めようと「春の袋栽培講習会」を開きました。

当日は、同支所の営農指導員が講師を務め、定植までの手順や水やり、追肥のタイミングのほか、適切な摘心・誘引の方法などを説明。部員は、肥料袋に切り込みを入れて排水用の穴を作り、ミニトマトの苗を定植しました。

部員は「降雨による裂果を防ぐための雨よけ方法も学べたので実践していきたい」と話しました。

講師からポイントを教わり丁寧に定植を行う部員

管内の旬な情報をお届け!

グリーンニュース Green News

来店者と対話する佐藤店長

管内農業の振興へ地域とともに

グリーンセンター1周年セール

JAあつぎ営農経済センター「あぐりべぇ」内のグリーンセンターは、今年5月でオープンから1年を迎えました。

5月17日と18日には、日ごろの感謝を込めて、精肉・牛乳・卵の畜産物や培養土などを特別価格で販売し、2,000円以上の購入でペピーノグミをプレゼントする1周年セールを開催。多くの来場者でにぎわいを見せました。

佐藤佑店長は「1日当たりの来店者数も増加している。今後も、生産者と一体となった店舗づくりを進めたい」と話しました。

紹介された資材を確認する参加者

夏に向け対策を学ぶ

厚木市園芸協会やさい部会

厚木市園芸協会やさい部会は5月27日、近年の高温化による夏野菜の収量低下を防ごうと、講習会を開きました。

当日は、営農技術顧問と農業資材メーカーの担当者が講師を務め、栽培方法や資材使用による対策を説明。耐暑性の高い新品種の特徴や植物を環境ストレスに強くする資材など、夏場の高温対策資材を紹介しました。

地震によって起こる現象や被害を学ぶ会員ら

災害への対応力を習得

助け合い活動すずしろ視察研修

助け合い活動すずしろは5月14日、防災に対する知識を深めようと、東京臨海広域防災公園内にある「そなエリア東京」を訪れました。

当日は19人の会員が参加。地震発生後72時間の生存力を高める体験ツアーでは、タブレット端末を使った防災クイズをはじめ、日ごろの備えや被害想定をパネルで学ぶなど、交流を深めながら防災への意識高揚を図りました。

生産者へ健苗を届け対話するJA役職員

適期配送とともに出荷を依頼

管内生産者へ水稲苗を配送

JAあつぎは5月7日から28日にかけて、43,000箱の水稲苗を管内の生産者へ配送しました。

配送は、役職員一丸となって実施。苗の仕上がりや今後の栽培について対話をしながら、1袋でも多い出荷をお願いしました。

生産者は「今年も青々とした素晴らしい水稲苗が届けられ、とても助かる。近年は、猛暑やカメムシの発生など、米を生産する環境としては厳しいが、1袋でも多く出荷できるよう、栽培管理を徹底していきたい」と意気込みを語りました。

出荷準備を行う内田さん夫婦

良質なバラで感謝伝える

厚木市園芸協会バラ部会

厚木市園芸協会バラ部会は、消費者ニーズを捉えた新鮮なバラを多くの人に届けようと、所属する3戸の農家が協力体制を築き、花き生産振興を図っています。

6月には「父の日」を迎え、贈答用としての需要も増加。JA農産物直売所「夢未市」・「グリーンセンター」や市内外の生花市場などへ、高品質で彩り豊かなバラが出荷されました。

部会員の内田博夫さんは「鮮度や品質を保持するため、収穫時間や出荷までの保管方法など、丁寧な作業を心がけている。さまざまな色や種類を取り揃えているので、場面やもらう人の好みを考えて贈ってくれたら」と話しました。

楽しく運動し健やかな暮らしを

介護予防運動教室

JAあつぎは5月14日から28日の3日間、健康や身体機能を維持し介護予防に役立ててもらおうと、組合員・地域住民を対象に「介護予防運動教室」を開催しました。

当日は「誰もがムリなく楽しく」をテーマに、転倒予防と尿失禁予防を目的とした「てんとうムシ体操」と「みつばち体操」を実施。講話では、要介護・要支援状態の予防に役立つ具体的な対策を伝えました。

福祉課の松木美沙子課長は「自分と家族のためにも、運動を継続し、介護予防に取り組んでほしい」と話しました。

音楽に合わせて運動をする参加者

火の通り具合を確認する部員

器具活用で調理の幅を広げる

睦合地区女性部「エークック料理講習会」

睦合地区女性部は5月15日、無水調理ができる鍋「HAMON」をはじめとした調理器具への理解を深め、日々の料理に役立てようと「エークック料理講習会」を開きました。

当日は、エークック株式会社の担当者が講師を務め、国産原材料を優先的に使う「エーコープマーク品」のだしパックなどを活用し、キッシュやケーキなど6品を紹介しました。

部員は、調理器具の手入れの手軽さを確認すると同時に、鍋の特徴を生かした調理を実践することで、素材本来の味を最大限に引き出せることなどを学びました。

部員は「日常に欠かせない料理をより楽しむため、調理器具を選ぶ際の参考にしていきたい」と話しました。

代かきの正しい作業方法を確認する参加者

実演講習で知識・技術習得

依知地区「代かき講習会」

依知支所は5月9日、正しい作業方法を学び、米の品質向上につなげてもらおうと「代かき講習会」を開きました。

当日は、松山株式会社の担当者が講師を務め、22人が参加。長く栽培に携わる生産者はもちろん、経験が浅い生産者にも分かりやすいよう、実演を交えながら代かきの効果と注意点について丁寧に説明を行いました。

参加者は、適切な速度での作業が重要であることを再確認。急な速度変化や旋回は、土の盛り上がりが発生し、除草剤や肥料が均一に分散しないなど、生育に影響を及ぼすことを学びました。

家 庭菜園

Let's trial

コールラビ
肥大した茎を利用する野菜

コールラビは地中海北岸原産のアブラナ科野菜で、茎の基部が球形に肥大するので、別名を球茎甘藍(キュウケイカンラン)とも呼ばれます。キャベツから分化した野菜のため似た性質を持ちますが、キャベツより暑さや寒さに強く、作りやすい野菜です。中間地の秋まきは、7月下旬～9月上旬に種まきし、9～12月に収穫します。春まきは3～4月にまいて、6～7月に収穫します。

品　種

球の色が緑白の「グランドデューク」(タキイ種苗)、紫の「パープルデューク」(タキイ種苗)などがあります。

畑の準備

あらかじめ畑1平方m当たりに苦土石灰100gを土とよく混ぜておき、植え付け(または種まき)1週間前に畝幅70～80cm、深さ15～20cmの溝を掘ります。次に、この溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%程度)100gと堆肥1kg程度を施し、土を戻して畝を立てます(図1)。

種まき・苗作り

苗作りをするには、7.5～9cmポリポットに種を4～5粒まき、発芽後に適宜密生部を間引き、1本立ちにして本葉4～5枚まで育てます(図2)。強健な野菜なので畑にじかまきしても良いでしょう。この場合は種を2～3cm間隔にまいて、間引きながら最終株間を約20cmにします。

植え付け

本葉4～5枚の頃、株間を約20cmに植え付けます(図3)。このとき植え穴に十分水を注ぎ、植え傷みの少ないようにします。

追肥・土寄せ

追肥は植え付け後20日ごろ、株元に化成肥料を1株約10g施用し、土寄せします(図4)。2回目は球が肥大する頃に施用します。生育が進み、下葉が傷んでいたら切り落としても良いでしょう。

病害虫の防除

ヨトウムシ、コナガなどが多いので、登録農薬で駆除します。生育初期は、寒冷しゃなどの防虫ネットでトンネル被覆し、害虫の被害を防ぐと良いでしょう。

収　穫

球の直径が5～10cmのときに、株元から刈り取って収穫します(図5)。球が大きくなると肉質が堅くなります。堅い皮はむいて薄くスライスし、サラダなどにします。また、さいころ状に刻んで、スープ、ポトフなどでいただきます。

園芸研究家　成松次郎(なりまつじろう)

神奈川県農業技術センター等で野菜の研究と技術指導に従事後、(一社)日本施設園芸協会で施設園芸及び加工・業務用野菜の生産・流通振興に携わる。現在、園芸研究家。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています

図1　畑の準備

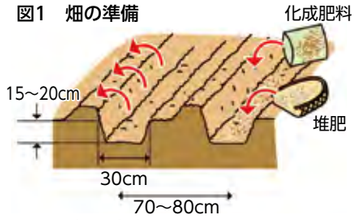


図2　種まき・苗作り

図3　植え付け

図4　追肥・土寄せ

図5　収穫

栽培カレンダー(コールラビ)

	まきどき	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
冷涼地	春まき		●			▲		■				
	秋まき					●		▲		■		
中間地	春まき			●		▲		■				
	秋まき					●		▲		■		
暖地	春まき	●			▲		■					
	秋まき						●		▲		■	

● 種まき　- - - 生育　▲ 植え付け　— 生育　■ 収穫

あぐりスポット
農業のお役　立ち情報をお　届け!

営 農通信

Let's trial

光の力で害虫を防ぐ
「光防除」について

松脂(まつやに)を灯し田畑を歩く伝統行事の「虫送り」は呪術的な意味だけでなく、光に集まった害虫を熱で殺す実際的な効果もありました。近年、光に対する昆虫の行動や病原菌の性質について研究が進み、LEDの製造技術も進歩しています。そこで今回は「光防除」についてご紹介します。

私がご紹介します

営農技術顧問(本所)
曾我部(そがべ) 光現(こうげん)

害虫の光応答反応

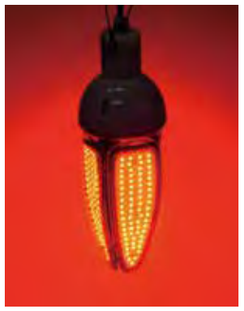
人間の可視光範囲は400～700nmで色覚の三原色は赤・緑・青ですが、ほとんどの昆虫は、可視光範囲が300～400nmで三原色は緑・青・紫外です。夜行性の昆虫は紫外線を多く放射する青色蛍光灯やブラックライトに誘引され、赤色光は見えないといわれています。このような光応答反応を利用し、近年では防除技術も進歩しています。

光による防除例

①赤色光による密度制御

ハウス内で赤色光600～660nmを照射することで、アザミウマ類が飛翔できなくなるほか、作物の緑色を識別することも困難となります。これらの効果により繁殖が抑制され、密度が減少することが研究で確認されています。

現在は害虫忌避LEDライトとして製品化されており、イチゴやナス、メロンのハウスで使用されています。



害虫忌避LEDライト
アグリボール

価格:58,752円(税込)

②青色光による交尾抑制・殺虫効果

近年の研究で、青色光の使用により、夜間の暗闇に順応して光に敏感になっている夜行性昆虫が、飛翔や産卵活動を一切停止して動かなくなる応答反応が確認されています。また、青色光には、ショウジョウバエ、蚊、ヒラタコクヌストモドキに対して殺虫効果が確認されており、今後の商品開発が期待されています。

③紫色光による天敵誘引

ヒメハナカメムシやタバコカスミカメは、アザミウマ類、コナジラミ類、ダニ類を捕食する有効な天敵で、紫色LED(波長:405nm)に強く誘引される特性が発見されています。ナスの露地栽培で設置した事例では、ヒメハナカメムシやタバコカスミカメが増加し、アザミウマ類の大幅な減少が確認されました。

色による防除例

サンサンネット クロスレッド

目合いの粗い0.8mmの防虫ネットでも織り糸を赤色にすると侵入を防げるようになり、内部を蒸れにくくする効果があります。

210cm×100m **価格:45,940円**(税込)

ラスボスRタイプ

昆虫には、明暗や色彩の差で生じる境界(エッジ)へ飛んでいく視覚行動特性があり、この特性が粘着トラップに活用されています。

100枚入 **価格:4,935円**(税込)

●詳しくは、各地区の営農指導員または指導販売部(担当:営農指導課)☎221-2273までお問い合わせください

お役立ち情報をお届け

税のはなし NO.78

令和７年度税制改正 ～扶養控除について～

猪熊（いのくま） 正美（まさみ）税理士

令和７年度の税制改正では、所得税の課税されないパート収入103万円の壁が160万円となりました。それとは別に、所得控除の一つである「扶養控除」も改正されましたので、今回はその基本的な内容をご説明します。

Q1 最初に、扶養控除の対象となる要件は何ですか？

A1 納税者に合計所得金額が58万円以下の生計を一にしている16歳以上の親族（青色事業専従者を除く）がいる場合、扶養控除の対象となります。

Q2 扶養控除は年齢によって控除額が異なると聞きましたが、どう覚えれば良いですか？

A2 ①16歳～69歳（②を除く）　②19歳～22歳　③70歳以上　の3つに分けられます。

Q3 ところで、年齢を判定するのはどの時点ですか？

A3 令和7年12月31日における年齢です。つまり毎年12月31日の年齢で判定します。

Q4 今回の改正では年収の壁が103万円から160万円に引き上げられたと聞きましたが、「扶養控除」の改正もあり、違いがよく分かりません。

A4 年収103万円が160万円になるという改正は、納税者本人のことであり、これから説明する扶養控除の改正は、納税者が扶養する親族のことです。分かりにくいですよね。

Q5 なるほど。では、扶養控除はどのように変わるのですか？

A5 まず、納税者に19歳～22歳の扶養親族がいる場合には新たな枠が設けられました。今までは扶養親族の年収が103万円以下（正式には合計所得金額が48万円以下）であれば「特定扶養控除」として63万円が控除されていました。ところが、今回の改正では「特定親族特別控除」という枠が新設され、年収が150万円以下までは63万円が控除され、さらに150万円を超えても188万円までは段階的に逓減して控除が受けられます。例えると、配偶者特別控除に似たようなイメージです。

Q6 では、19歳～22歳以外の扶養親族はどうなりますか？

A6 はい。令和7年分より扶養親族の要件が48万円から58万円に引き上げられ、さらに給与所得控除も55万円から65万円に引き上げられたことで、その結果として、扶養親族の年収が103万円から20万円アップし、年収が123万円までであれば、「扶養控除」が受けられるようになりました。

詳しくは、JAまでご相談ください

困りごとはJAへ　無料相談会のお知らせ

事前予約制

日時等は変更になる場合がありますので、詳細については、担当部署もしくは最寄りの支所店へお問い合わせください。

法務相談

各種法律に関する相談についてお受けしています。
会　場　JAあつぎ本所3階「相談室303」
相談員　高橋暁子顧問弁護士
日　程　7月 7日(月)　7月18日(金)
　　8月 5日(火)　8月20日(水)
※9時30分より(1人30分5人まで)受付順
お問い合わせ　各支所店または総合相談部(担当:総合相談課)
☎259-7776

税務相談

所得税・相続税など税に関する相談についてお受けしています。
会　場　JAあつぎ本所3階「相談室303」
相談員　JAあつぎ契約税理士
日　程　8月6日(水)
※13時30分より(1人1時間3人まで)受付順
※ご予約は相談日10営業日前の12時まで
※上記日程以外での予約をご希望の場合は、お問い合わせください
お問い合わせ　各支所店

くらしによりそう総合相談会

相続遺言・民事信託、資産形成、ローン、保障見直し、葬儀、不動産活用などに関する相談についてお受けしています。
会　場　JAあつぎ本所
相談員　JAあつぎ職員
日　程　8月9日(土)
※10時より(1人1時間5人まで)受付順
※各支所店でも開催しておりますので、詳しくはJAあつぎホームページをご確認ください
▲詳しくはこちら
お問い合わせ　総合相談部(担当:総合相談課・推進課) ☎259-7776

新鮮で安全・安心な農畜産物を食卓へお届けし、皆さまに食と農の大切さをお伝えします。

夢未市・グリーンセンター Yumemiichi かわら版 Greencenter

▲直売所のイベントカレンダーは、こちらをご覧ください。

夢未市・グリーンセンターのおすすめ

手のひらから野菜摂取量を推定
ベジチェックで自身の野菜摂取レベルを知ろう！

夢未市・グリーンセンターには、自身の野菜摂取量が簡単に測定できる「ベジチェック」が常設されています。測定方法は機械に手を乗せるだけと簡単で、皮膚のカロテノイドを測定し、野菜の摂取レベルと摂取量推定値を知ることができます。食生活の見直しや健康増進に役立つツールとなります。ぜひ活用してみてください。

測定方法

①画面の「計測をはじめる」を押します。
②親指の付け根をセンサーに押し当てます。
③そのまま30秒で、すぐに結果が出ます。

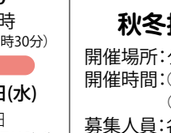
野菜摂取レベルは1～12で評価！野菜を食べてレベル7以上を目指そう！

1日に必要な野菜の摂取量

厚生労働省「健康日本21」では、1日に350gの野菜を取ることを推奨しています。20歳以上の平均を見ると、1日当たり70gの野菜が不足しています。野菜不足は、免疫力の低下によって病気になりやすくなるほか、体も疲れやすくなり、心にも影響を及ぼします。

彩り豊かな夏野菜は栄養豊富

野菜の摂取量が足りていない…と分かったら、まずは定番野菜を取り入れて摂取量を増やしませんか？旬の野菜は、その時期に体が必要とする栄養が豊富に含まれています。



トマト　赤い色は、リコピンという色素成分で、抗酸化作用があります。また、疲労回復効果にもピッタリな食材です。

キュウリ　成分の約95%が水分で、むくみ改善にも期待できるカリウムを含みます。ぬか漬けは、疲労回復の助けにも。

ナス　用途が広い万能野菜。ナスニンというポリフェノールの一種は抗酸化作用があり、生活習慣病の予防にも役立ちます。

グリーンセンターのおすすめ

夏の農作業を快適に「ShaBo遮帽ウルトラライトハット」

今回紹介するのは「ShaBo遮帽ウルトラライトハット」です。太陽光を80%カットする遮熱アルミ素材「ダイオミラー」を使用するほか、紫外線を99%カットし、通気性は布帽子の約2.5倍。高い熱反射・通気性を同時に実現し、気温34℃の状態が25分間続いても、ほとんど温度の上昇が見られません。暑い夏の熱中症対策におすすめです。

価格：M・Lサイズ　3,960円(税込)

夢未市宅配サービス

新鮮な農産物の詰め合わせをご自宅までお届け♪
ゆめみちゃんボックス
3,000円(税込)
ご注文受付中!
ご注文は指導販売部(担当:総合販売課)
☎221-2273
※ご注文の詳細については、JAあつぎホームページをご覧ください

休業日・営業日時のお知らせ

夢未市
厚木市温水255
☎290-0141
9時30分～17時
(ジェラートコーナーは10時～16時)
休業日
7月の休業日：16日(水)
毎月第3水曜日
(3月・9月は第2水曜日、1月・8月・12月は除く)
1月1日～4日

グリーンセンター
厚木市三田1827-1
☎241-6150
9時30分～17時
(精米機は9時30分～16時30分)
休業日
7月の休業日：9日(水)
毎月第2水曜日
(8月は第1水曜日、1月・5月は除く)
12月31日～1月4日
※巡回指導時を除き、JA営農技術顧問が常駐

グリーンセンター講習会のご案内

8月19日(火)　初心者向け
種まきから始める
秋冬採り作物の栽培管理
開催場所：グリーンセンター
開催時間：①10時～11時
　②14時～15時
募集人員：各回15人(合計30人)先着順
参 加 費：無料
申 込 先：指導販売部(担当：総合販売課)
☎221-2273

あつぎゆめ散歩

玉川・南毛利地区 | 小野・長谷

自然とともに歴史や食を堪能

今回は厚木市の南部に位置する小野と長谷を巡ります。玉川が流れるこの地域は、緑地もあり豊かな自然に恵まれ、季節ごとに変わる景色を楽しめることも魅力の一つ。歴史に触れられるスポットで学びを深めた後は、体に優しい素材を使ったこだわりのパン屋や旬の農産物が並ぶ直売所を楽しんでみてはいかがでしょうか。

① Plaisirプレジール千穂

自宅での販売を経て、令和４年にオープンしたパン屋。長時間発酵で丁寧に仕込みをし、地場産の野菜や小麦を取り入れるほか、卵や白砂糖、添加物の不使用を心がけて作っています。店頭には、約40種類のパンが並び、一番人気の「湘南バケッド」は、小麦の甘みと香りを存分に楽しむことができます。店主の夫がDIYで作りあげた木を基調とした店舗からは、温かな雰囲気が感じられます。老若男女問わず人気で常連も多く、移動販売やイベントも不定期で実施。LINEからパンの予約ができ、オンラインショップと店舗前にある自動販売機でも購入することができます。

厚木市長谷1698（1階）
11時～18時30分
090-4700-4508
休 日～火曜日、木～金曜日（水曜日・土曜日に営業）
※詳しくはインスタグラムをご確認ください

② 小町神社

小野小町の出生地で小野姫を祭っているとされ、天正19年には、徳川家康の朱印状が与えられるなど、古くから由緒ある神社とされています。鎌倉時代に丹後の局が小町神社で数日祈願を続けたところ白髪が黒髪に戻ったと伝えられ、白髪が黒くなる御利益があるといわれています。現在の拝殿は嘉永元年に建てられました。小野緑地北側の小町山山頂に鎮座し、神社からの展望は良く、大山が見渡せます。

厚木市小野2200付近

③ 龍鳳寺

曹洞宗江戸駒込の吉祥寺の末寺で大洲安充禅師により享禄３年に開創された寺院。開基は地頭床左近太夫（じとうしょうさこんだゆう）で境内に墓があります。明治初年の廃仏毀釈（はいぶつきしゃく）令により基盤を失いましたが、大正年間に再建。昭和初期にかけては、桜花爛漫（おうからんまん）四月の花まつりに老若男女が訪れ賑わったとされています。参道は94段の階段で作られており、いい運動にもなります。

里山の静寂が心地よいです♪

厚木市小野1201

④ 玉川農産物直売所

地域の生産者が丹精込めて育てた、新鮮な旬の農産物や加工品を販売する直売所。これからの時期はタマネギやネギ、ジャガイモなどが並びます。三橋豆腐店の豆腐や神奈川中央養鶏の卵も取り揃えているほか、木曜日と金曜日、土曜日には清川村にある「HEAVEN」のパンも販売しています。午前中に売り切れることもあるため、早めの来店がおすすめです。

厚木市小野2444　10時～15時
046-250-5300　休 毎週水曜日

住所　営業時間　LO ラストオーダー　電話番号　休 定休日
※営業時間等は変更となる可能性があります

簡単！エクササイズ

散歩の合間に！
体を動かして毎日元気に！

今回ご紹介するのは、いすに座りながらできる運動です。暑くなると、運動不足になりがちですが、仕事などの合間に体を動かすことで柔軟性が向上し、けがの防止につながります。気分転換にぜひ取り入れてみてください。

体側を曲げ伸ばす運動

痛みが出る際は、無理せず中止しましょう。

(1)いすに座り、手を組んで準備をします。

(2)手のひらを返して上に向け、両腕を伸ばしながら体側（体の側面）を曲げ伸ばします。同時に脚もストレッチしましょう。

(3)(1)の姿勢に戻ります。

(4)反対側も同様に、両腕を伸ばしながら体側を曲げ伸ばします。同時に脚も伸ばします。息を吐きながら行ってみましょう。

(5)(1)の姿勢に戻ります。

わが家 Photo

厚木市
戸田

こすげ しおり
小菅 詩織ちゃん（9歳）
ようた
陽大くん（7歳）

父：裕大さん　母：理恵さん

元気いっぱいな姿を見せてくれた詩織ちゃんと陽大くん。体を動かすことが好きな2人は、昨年からトランポリンを始め、今年からは地域のバスケットボールチームに入団しました。パスやドリブルなど、上達に向けて日々自主練習に励んでいます。ゴールデンウイークは、家族でBリーグを観戦しに行き、会場の熱気やプロ選手の迫力あるプレーを間近で味わうなど、充実した時間を過ごしました。

小学4年生の詩織ちゃんは、以前まで習っていたスケートボードを現在も趣味として続けています。自宅では、漫画を読んだり絵を描いたりして過ごすほか、近所の友達と遊ぶのも楽しみです。小学1年生の陽大くんは、とても活発な男の子。お父さんと対戦ゲームをするのが好きで、最近はポケモンカード集めにも夢中です。

ご家族は「健康第一に、元気で明るい子に育ってほしい」と話しました。これからも2人仲良く、楽しく過ごしながらたくさんの思い出を作ってね♪

祖父母が作る野菜やイチゴが大好き！
いつもありがとう♪

組織ボイス

南毛利地区　ミーアキャット

仲間と楽しむ健康な体づくり

代表　佐藤（さとう） 芳美（よしみ）さん

Q1 ミーアキャットについて教えてください。

体験教室をきっかけに、令和4年に結成したバランスボール運動を行うグループで、和気あいあいとした明るい雰囲気が特徴です。現在は部員10人が所属し、講師の小池千恵子先生指導のもと、第1・第3木曜日に南毛利支所で活動しています。

Q2 どのような活動をしていますか。

楽しみながら無理せず体を動かすことを大切にし、ボールを使ったストレッチや音楽に合わせたエクササイズで、気持ちよく汗を流しています。講師の先生による専門的な指導は、健康な体と美しい姿勢の維持につながっています。

Q3 今後の目標を教えてください。

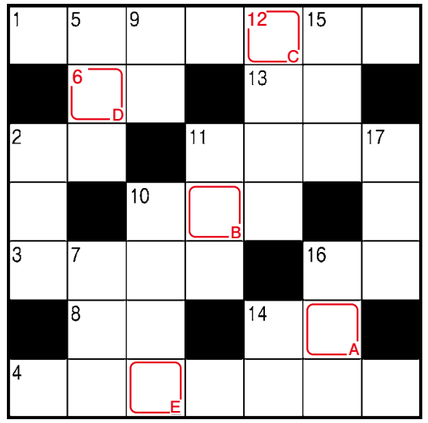
新たな仲間づくりに向け、女性部文化交流会に出場し、グループや活動の魅力をPRしていきたいと考えています。今後も、健康な毎日が過ごせるよう、仲間と交流を深めながら運動を継続していきたいです。

PRESENT QUIZ クロスワード

パズルを解いて、キーワードをお答えください。

応募者の中から抽選で**5名様**に夢未市等で使える
商品券500円分をプレゼント!!

問題 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



◆タテのカギ

2 3人組のこと
5 闇魔大王がいるところ
7 ハワイ州の州都、ホノルルがある島
9 浴衣を着て――を締めた
10 ショッピングモールには多くの――が入っている
11 左右反対に映ります
12 メロンの生産量が日本一である県
14 糸を通して布を縫います
15 1とその数自体しか約数を持ちません
16 俵万智の第一歌集『サラダ――日』
17 阿寒湖で育つものが有名な藻類

◆ヨコのカギ

1 夏休みの朝に通ってスタンプをもらいます
2 早起きは三文の――
3 サーファーが乗ろうとするもの
4 アルコール分が含まれていない飲み物
6 疑問文では上げることが多い
8 葛まんじゅうの中に包み込まれているもの
10 デジタル時代になり――の文字を見る機会が減りました
11 騎手が乗っていません
13 観光、スクール、二階建てといえば
14 鳥の体に生えるもの
16 うな重と一緒に――吸いを注文した

答え　A　B　C　D　E

■6月号クロスワードの答え：
「ウメシユ」

二次元コードを読み取るとホームページの応募フォームが表示されます。

※お寄せいただいた個人情報は、広報事業、賞品発送に利用するほか、個人を特定できない統計情報とした上で、マーケティング等に利用させていただきます

宛先 〒243-0004 厚木市水引2-9-2
JAあつぎ総合企画部グリーンアートあつぎクロスワード・お便りコーナー係宛

応募方法 ハガキ・FAX・ホームページで①クイズの答え②郵便番号・住所③氏名④電話番号⑤年齢⑥組合員資格区分「正組合員（家族含む）」「准組合員（家族含む）」⑦身近な話題やJA・情報誌に関するご意見・ご要望を記載しご応募ください。
■FAX　046-223-8814
■https://www.ja-atsugi.or.jp/form/greenart/　■締め切り　7月7日（月）

お便りコーナー

読者の皆さまからいただいたお声をご紹介します。絵手紙や写真の応募も大歓迎です。たくさんのお便りをお待ちしています。

厚木市で特産化を目指す農産物「ペピーノ」に興味があります。特徴や食べられる場所を知りたいです。
（厚木市三田 F さん）

ペピーノプロジェクトで立ち上げたホームページには、ペピーノに関する情報が紹介されています。ぜひチェックしてみてください。

友人と「DaidoCoひなた」の講習会に参加し、いつも楽しんでいます。最近は抽選なので、結果のはがきが届くまでドキドキです。
（厚木市下荻野 S さん）

ご参加いただきありがとうございます。毎月、さまざまなテーマで講習会を開いています。今後も、ご家族やご友人をお誘いの上、ぜひお越しください。

足柄茶の特集で紹介されたお茶の入れ方が参考になりました。入れ方を変えるだけでとてもおいしくなりました。
（厚木市戸室 G さん）

足柄茶は多くの種類があり、味の違いを楽しむことができます。入れ方を参考にしていただき、お好みのお茶を探してみてください。

「営農通信」のアレロパシーの記事が興味深かったです。他にも身近な害虫や動物を遠ざける植物などがあれば知りたいです。
（厚木市上古沢 N さん）

メントールを多く含むペパーミントなどのハーブ類は、虫除けに効果が期待できます。育てやすく、料理にも使えるので家庭菜園におすすめです。

他にもこんなお便りをいただきました！

グリーンセンターで買ったタマネギがとてもおいしかったです。新鮮な野菜が多く、思っていたよりたくさん買ってしまいました。
（厚木市妻田北 F さん）

今年初めて家庭菜園でキュウリに挑戦中です。記事を参考にし、たくさん収穫したいと思います。
（厚木市旭町 B さん）

編集後記

7月からは夏野菜の出荷が増えてきます。夢未市・グリーンセンターでは、普段スーパーで見かけない珍しい野菜も並びます。気になる野菜を見つけたらぜひ一度お試しください。また、これからの時期は「夏バテ」に注意が必要です。地元の野菜や肉をバランスよく食べて、体調を整えていきましょう。（村越）

営農座談会

組合員の声をJA運営へ

JAあつぎは組合員の皆さまの意見を聴取し、地域農業の振興と環境・文化・福祉への貢献を通じて、豊かで暮らしやすい地域づくりに取り組むことを目的に、「営農座談会」を開催しています。令和7年の座談会は、3月上旬から中旬にかけて管内39会場で開催し、438人にご参加いただきました。ここでは主な意見・要望を集約してご紹介します。

■営農指導・販売関係

Q 米の奨励品種である「はるみ」は暑さに弱いのでしょうか。より暑さに強い新しい品種を開発してほしいです。

A 「はるみ」は、「コシヒカリ」と「キヌヒカリ」を交配して作られた品種であり、以前の奨励品種である「キヌヒカリ」よりも高温に強い品種です。また、神奈川県では近年の異常気象ともいえる高温状況に対応するため、より高温に耐性のある「にじのきらめき」などの試験を進めています。

Q 政府による備蓄米の入札について、JAあつぎは参入しないのでしょうか。

A JAあつぎは備蓄米入札の参加資格要件を満たしていないため、参入することができません。JA全農が入札した米を仕入れ、夢未市・グリーンセンターで販売しています(備蓄米の表示はしません)。

Q 水稲栽培における斑点米カメムシ被害の防除に有効な農薬を教えてください。

A 「スタークル粒剤」・「スタークル豆つぶ」・「ダントツ粒剤」・「キラップ粒剤」などが登録薬剤です。最近は、10アール当たりの散布量が少量で、散布も簡単な「スタークル豆つぶ」の購入・利用が増えています。

Q 昨年の水稲栽培では、稲が倒伏してしまいました。施肥の量や時期に問題があったのでしょうか。

A 元肥と追肥を適正時期・適正量で施肥することで徒長を抑制し、倒伏のリスクを軽減できます。追肥の適期などについては、水稲現地検討会にて情報提供を行いますので、ぜひご参加ください。

Q サル・シカ・イノシシなどの農産物被害に困っており、防護柵も壊されてしまいました。有害鳥獣対策をもっと強化してほしいです。

A 有害鳥獣の対策については、中型動物用わなの貸し出しや電気柵設置にかかる費用助成を行っており、今後も行政と連携し、被害軽減に向けた対策を強化していきます。また、被害の実態を把握するため、生産組合を通じて定期的に被害調査表を取りまとめ、行政に提出しています。対策にかかる予算の確保や具体的な対策を実施するための重要な根拠になりますので、軽微な被害でも調査表の積極的な提出にご協力をお願いいたします。

Q 営農経済センター「あぐりべぇ」の敷地内に新しく農機保管庫を設置すると聞きましたが、いつ頃の完成を予定しているかを教えてください。

A JAあつぎでは、営農経済センター「あぐりべぇ」を拠点とした地域農業の課題解決や地産地消の推進、組合員サービスの向上に取り組んでいます。農機保管庫は4月に着工を開始し、10月に竣工を予定しています。

■ライスセンター関係

Q ライスセンターでは、他の生産者が出荷した米と合米になると聞きましたが、着色米などの米も一緒になってしまうのでしょうか。

A 荷受ごとにサンプル米を抽出し、自主検査装置などによる品質確認を実施しています。また、調整時には着色米が混入しないように色彩選別機を使用するなど、品質向上を図っています。

Q ライスセンターの処理能力の上限について教えてください。また、令和6年度の実績を踏まえると、設備全般の規模が大きすぎるのではないでしょうか。

A 大型の乾燥機を3台設置し、最大処理能力は1日当たり2ヘクタールになります。令和6年度の利用実績を鑑みると余裕のある処理能力となりますが、生産者を取り巻く環境は厳しさを増しており、機械導入費用負担や高齢化、乾燥・調整時の騒音・粉じん問題などの要因から、将来的には利用量が徐々に増加していくと予想されます。

■直売所関係

Q 夢未市の売上実績のうち、委託品販売はどれくらいの割合を占めているのでしょうか。

A 令和6年度の売上実績のうち、委託品販売の割合は約6割になります。生産者の皆さまにおかれましては、今後も積極的な出荷にご協力をお願いいたします。

Q 夢未市・グリーンセンターでの厚木産「はるみ」の販売状況を教えてください。

A 夢未市・グリーンセンターには米を買い求める方が非常に多く来店しており、4月に厚木産「はるみ」の販売が終了しました。今後も産地との連携を強化し、他県産米の仕入れを継続することで米の供給が滞らないよう取り組んでまいります。

■購買関係

Q 肥料や農薬など、生産資材価格の高止まりは今後も続くのでしょうか。

A 不安定な国際情勢や原材料価格の高騰を考慮すると、このような状況は継続すると考えられます。JAあつぎとしても、市場調査の徹底およびスケールメリットを生かした価格設定に引き続き取り組むほか、組合員のニーズに合った商品ラインナップの充実に努めてまいります。

24時間電話対応
・24時間病院等へのお迎えと霊安室でのお預かりも承ります
・霊安室にお預かりして、ホールで納棺できます
☎046-221-1800(直通)
夜間受付電話(17時～翌日8時30分)は、「JAあつぎ夜間コールセンター」が対応いたします。

事前相談で後悔・不安のないお葬式を

ほとんどの人にとって初めての体験である「葬儀」は、分からないことばかり。どのような葬儀にしたいかや費用面を把握しておくことで、不安が解消されると思います。ご相談は随時承りますので、お気軽にご連絡ください。

ライスセンターの利用方法および申し込みについて

厚木市三田のライスセンターは、収穫したもみを荷受けし、乾燥から選別までの作業を行う施設です。ご利用の際は下記の内容を参照いただくほか、詳しくはJAあつぎホームページをご確認ください。

申込方法

申し込みについては、以下の3つが必要となります。

【申し込み時提出書類】

■ライスセンター利用申込書兼承諾書
申込方法 ⇒ 紙面提出または入力フォーム
(入力フォームは申込期間中に利用可能)

入力フォームはこちらをご確認ください

■貯金口座振替依頼書
提出方法 ⇒ 紙面提出 (新規で利用する方のみ)

■JAあつぎ買取米出荷契約書(ライスセンター利用者用)
提出方法 ⇒ 紙面提出(JAあつぎに出荷予定の方のみ)

【書類提出先】

指導販売部 (担当：営農指導課)

もみの搬入

JAあつぎより事前に搬入日をご案内いたします。搬入日に合わせてもみの搬入をお願いいたします。

精算手続き

利用内容に応じて、ライスセンターや穀物コンテナの利用料金、配送手数料を指定口座より引き落としいたします。

申込期間

令和7年7月1日(火)～7月31日(木)

ご利用の際は、確認が必要な注意点もございます。詳細をJAあつぎホームページでご確認の上、お申し込みください。

詳しくはJAあつぎホームページをご確認ください

お問い合わせ　指導販売部(担当:営農指導課)
☎221-2273

厚農商事株式会社からのお知らせ

マイホーム・アパート建築キャンペーン

JAグループ神奈川では、「マイホーム・アパート建築キャンペーン」を実施しています。期間中、マイホームまたはアパートの建築をご依頼いただいた方に、5万円相当のカタログギフトをプレゼント※いたします。さらに、マイホーム建築の方には、特別値引きの特典もご用意しています。この機会にぜひご検討ください。

※進呈条件がございます。詳しくは下記までお問い合わせください

実施期間　5月19日(月)～7月31日(木)

申込方法　お近くの支所店または厚農商事(株)までお問い合わせください

お問い合わせ　厚農商事株式会社
神奈川県知事免許(14)第7027号
☎224-1555

詳しくは厚農商事(株)ホームページをご確認ください

第15回 JAあつぎソフトボール教室参加者募集

日　時　8月22日(金)　9時30分～11時30分
※雨天の場合は中止　※受付は8時45分から(開場9時)

場　所　ツユキ及川球技場(厚木市営及川球技場)

開催概要　実践的な指導および高度なレベルのプレーに触れ、交流を図りながら技術を修得し、レベルアップにつなげます。

参加対象　厚木市・清川村の小学3～6年生

参加人数　60人程度

参 加 費　無料

講　師　県立厚木王子高校ソフトボール部(監督・選手)

申込方法　各支所店窓口・本所(総合企画部)にて所定の申込書をご記入の上、お申し込みください。

申込締切　8月7日(木)※定員に達し次第終了となります

詳しくはJAあつぎホームページをご確認ください

お問い合わせ　各支所店または総合企画部
(担当:企画課)☎221-1512

訪問介護員募集のご案内

JAあつぎが運営する訪問介護事業所の訪問介護員を募集しています。急な休みが発生しても、仲間でカバーし合える、安心して働ける職場です。子育て中の方も大歓迎です。ご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

雇用形態　短期雇用職員(パートタイム)

業務内容　訪問介護業務
(入浴介助・おむつ交換・買い物同行・調理・掃除など)

賃金形態　時給1,170円～

契約期間　採用から令和8年3月31日まで
(更新する場合がございます)

試用期間　試用期間有り(3カ月程度)

就業場所　厚木市および清川村で希望の勤務地域
(利用者居宅など)

就業時間　6時～22時で要相談

休憩時間　1日の勤務時間が連続で6時間以上8時間未満は45分
8時間以上は60分

休　日　シフト制による

社会保険　雇用・労災・健康保険・厚生年金(雇用条件による)

要 資 格　介護福祉士・ヘルパー2級・
介護職員初任者研修修了者など

詳しくはこちらをご確認ください

お問い合わせ　組織文化部(担当:福祉課)
☎225-7716

水稲追肥時期現地検討会のご案内

良質・良食味の米を生産するためには出穂前後の管理が重要です。また、猛暑や低温、集中豪雨などの異常気象にも注意が必要です。高温障害やカメムシなどの対策を学ぶ水稲追肥時期現地検討会を各地区で開催しますので、皆さまお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

地区名	開催日	開催時間	開催場所
依　知	7月 3日(木)	15時	長坂耕地
	7月 4日(金)	10時	金田耕地
		15時	山際耕地
荻　野	7月 8日(火)	10時	下荻野耕地
睦　合	7月 4日(金)	10時	下川入耕地
		13時	三田耕地
		15時	及川耕地
小　鮎	7月 9日(水)	10時	飯山耕地
玉　川	6月25日(水)	10時	玉川支所前
南毛利	7月11日(金)	13時30分	上愛甲耕地
		15時	赤羽根耕地
相　川	6月28日(土)	10時	下戸田耕地
		13時30分	上落合耕地

お問い合わせ　指導販売部(担当:営農指導課)
☎221-2273

JAあつぎ本所クッキングスタジオ

「DaidoCoひなた」講習会のご案内

① 親子で作ろう！タコライス

日　時　8月1日(金)10時30分～13時

参 加 費　1組2人:組合員・組合員家族1,200円(税込)
一般1,500円(税込)
※1組3人の場合は上記プラス600円

定　員　抽選最大15組 (1組3人まで) ※小学生親子が対象

② 寒天料理講習会

日　時　8月27日(水)10時30分～13時

参 加 費　組合員・組合員家族800円(税込)
一般1,100円(税込)

定　員　抽選25人

申込受付　7月1日(火)～7月9日(水)

※定員に満たなかった講習会は、締切日を過ぎても受付できる場合がありますので、お問い合わせください

詳しくはJAあつぎホームページをご確認ください

お問い合わせ　組織文化部(担当:生活ふれあい課)
☎221-6881

JAグループ神奈川がお送りする新鮮情報番組

かながわ旬菜ナビ

毎週日曜日 9時～9時30分
(再放送)毎週月曜日　10時～10時30分

7月 6日 (再放送)7日	「水の旅」 愛川～横須賀	JAグループ神奈川 協力：JAよこすか葉山、JA県央愛川
7月13日★ (再放送)14日	野菜の力で ハッピー♡ライフ	JAグループ神奈川 協力：JA横浜
7月20日★ (再放送)21日	2025・夏！ 海老名で街歩き	JAグループ神奈川 協力：JAさがみ
7月27日★ (再放送)28日	情熱フレーバー in よこはま	JA横浜

★マークの放送回は、高校野球中継に伴い下記のとおり放送時間変更となります。
日曜日8時～8時30分、月曜日(再放送)7時～7時30分

各種相談受付(お問い合わせ 平日 8時30分～17時)

農業に関する相談(要予約)
日　時：平日 8時30分～17時
相談員：厚木市都市農業支援センター職員
お問い合わせ：厚木市都市農業支援センター ☎221-5511

交通事故受付
日　時：平日 8時30分～17時
相談員：査定課職員および全共連職員
お問い合わせ：共済部(担当:査定課) ☎221-2866

介護相談
日　時：平日 9時～17時
相談員：福祉課職員
お問い合わせ：組織文化部(担当:福祉課) ☎225-7716

結婚相談
日　時：第2・4土曜日 10時～15時
※場所は本所相談室302
相談員：専任相談員
お問い合わせ：総務部(担当:庶務課) ☎221-1666

理事会だより

令和7年5月22日・24日に行われた理事会に上程された主な議案は、以下の通りです。

(22日)・令和６年度情報開示（ディスクロージャー）について
・令和７年度会計監査人の報酬等の決定について
・「厚愛地区JA合併推進協議会（仮称）」の設置について
・参与の選出について
・令和７年度米の買取価格に関する見直しについて
・４月末事業実績について
・令和７年度第２四半期の余裕金運用方針について

(24日)・役付理事および代表理事の選任について
・役付理事および理事の順位・理事の担当業務の決定について
・子会社役員の担当業務（役付取締役）について

JAあつぎの概要(令和7年4月末日現在)

組合員数	18,773人
正組合員	4,083人
准組合員	14,690人
職員数(正職員)	348人
貯金	369,778百万円
貸出金	105,915百万円
共済保有高	575,988百万円
購買取扱高	978百万円
販売取扱高	211百万円
出資金	2,329百万円

●発行・編集／厚木市農業協同組合 総合企画部 企画課　〒243-0004 厚木市水引2-9-2
☎046-221-1666㈹　ホームページ／https://www.ja-atsugi.or.jp/
●印刷／山陽印刷株式会社　7月号 vol.243　2025年6月16日発行

穴をあけてとじる場合は、この三角形を目安にご利用ください。

今月のレシピ

国消国産 こくしょうこくさん

メロンのフレンチサラダ

材料（2人分）

- メロン……1/2個
- 木綿豆腐……150g
- スモークサーモン……50g
- 塩……少々
- オリーブオイル……大さじ1/2
- A
  - レモン汁……小さじ1/2
  - 塩……少々
  - ブラックペッパー……少々

作り方

①木綿豆腐に少量の塩をまぶし、ペーパーなどで包む。電子レンジで500W2分加熱した後、30分ほど置き、軽く水切りする。
②水切りした木綿豆腐を3cm角、メロンは2~3cm角に切り、スモークサーモンは半分に切る。
③ボウルに木綿豆腐とメロン、スモークサーモンを入れさっと混ぜる。
④Aを混ぜ合わせ、③のボウルに入れ、全体にからめる。
⑤④を器に盛り、オリーブオイルを上から回しかけて完成。

旬の農産物情報

7月のおすすめ「メロン」

メロンには、カリウムが豊富に含まれ、余分な塩分を排出する作用があります。甘くておいしい地場産メロンは出荷期間が短いので、見つけた際はぜひ味わってみてください。

厚木市戸田でメロンを栽培しています。1本の木に対して1玉を丹精込めて栽培。消費者においしく食べてもらうため、食べ頃を表記し、7月上旬から中旬にかけて夢未市に出荷しています。

栽培では、有機堆肥をたっぷり施用し、栄養豊富な土作りを行うとともに、小まめな圃場巡回で病害虫の早期発見・対策に努めています。収穫前には水分を抑制し、糖度が高く香りの良いメロンに仕上げています。

地場産のメロンは、形・色・味にこだわり、出荷しています。ぜひ、肉厚で柔らかな果肉が特徴のマスクメロンを味わってみてください。

和田（わだ） 定通（さだみち）さん
（相川地区）